

福山市立大学研究生で学び直し!! **連載**

# 村上栄二です。

     各種SNSやっています!

プロフィール

意見広告



りじょう幼稚園、福山市立新涯小学校、福山市立誠之中学校、私立近畿大学附属高等学校福山校近畿大学法学部経営法学科を卒業。大学卒業後、有限会社DC開発研究所にて代表取締役のほか、大阪市会議員(1期)を務める。2015年6月からは「地元」に恩返しをしたい」想いで福山に戻る。広島県議会議員。

## 背景

### ワクチンだけでは 死亡超過数増加原因

・芸能人の自殺も目立ち令和2年以降、年間2万人の自殺者があり、未遂者はおよそ10倍。女性と子供たちの自殺者数が増えている現状からも社会的地位が厳しい人たちのストレスからくる心身の不調も容易に想像できる。

・循環器系、呼吸器系の人には救急受入れも少なかった。

・がん手術なども緊急性がなく、早期手術ができなかった背景もある。

・高齢者が引きこもりを余儀なくされ、心身不安によるストレス等からも体調管理が困難だったことも予測される。

以上の理由からもワクチンⅡ死亡超過数になつてはならない。

政治家は課題を追究し指摘する事が必要であり、両者の立場から物事を見つめる必要性がある。

### 予防はゼロ次予防から 三次予防までである

・一次予防Ⅱ病気になるに  
くい体を創る。↓保険適用

・二次予防Ⅱワクチン対応  
↓一部自己負担とコロナワ

## 今月のテーマ

ネット情報やYouTubeなどで、ワクチンが原因で超過死亡者数が跳ね上がっているという情報もあるが、冷静に考える必要がある。令和3年度に跳ね上がったのか、次の事が考えられるのではないか？

# ワクチンが原因と噂される 死亡超過数も、数字だけに 囚われず冷静に判断すべき。



クチンは公費。

・二次予防Ⅱ疾患してから  
進行を防ぐ↓全額自己負担  
(いま注目されているのは米  
女優のアンジェリーナジョ  
リーがDNA検査によって  
乳がんリスクを知り、乳房  
そのものを切除したゼロ次  
予防という考え方)。

病気になるににくい事業、認  
知症になりにくい事業を国  
は本来推進すべきだ。

## 村上栄二の考え方

日本の制度設計やルールが高度経済成長期のまま進んでいるが、少子高齢化による時代の変化を先送りした結果、企業の健康保険組合も解散や破綻が進みつつある。

結果として高齢者は増加し医療費・介護負担増は避けられない。では医療・介護に頼らない身体作りこそが本来問われるべき政策だ。

例えば、死んだら保険料が入るのではなく、元金なら保険料が入るスキームも考える。

予防医療という概念に

対して調査研究費を増額し、保険適用拡充を図り動けない高齢者を減らし、動く高齢者を増やすという抜本的な考え方が必要ではないだろうか？

ちなみに北海道夕張市は財政破綻したが、171床の市立総合病院が19床の市立診療所になり9割ベッド数は減った。しかし、プライマリケアで初期診断行い生活改善指導や病氣予防で医療崩壊は起きなかった。

## ことば解説

### 死亡超過数

例年ある時期の本来想定されている死亡者数より、増えた数。

賃貸マンション、月極駐車場  
「空き」あります!

# Consort homes

お問合せ

有限会社 DC 開発研究所

☎ 084-999-3166

〒720-0052 広島県福山市東町2-3-2